

〔川崎医療福祉学会ニュース〕

川崎医療福祉学会 第16回研究集会

平成11年 6 月 9 日(水)

研究発表

座長 大澤 源吾

1. 介護福祉士養成教育における資質の側面について

川崎医療福祉大学 医療福祉学科 ○近藤 功行 末光 茂
 老人保健施設アルテピアセと 日下 喬史
 旭川荘竜ノ口寮 刈谷 哲博

2. 高齢女性の健康生活におけるシルバーコーラスの意味

— 参加者の健康指標と QOL およびコーラス前後の NK 細胞活性を比較して —

川崎医療福祉大学 保健看護学科 ○人見 裕江
 川崎医療福祉大学 医療福祉学科 宮原 伸二 中村 陽子 塚原 貴子 揚野裕紀子

座長 辻 悦子

3. 発育期の野球肩・肘障害予防への臨床スポーツ医学的取り組み

川崎医療福祉大学 健康体育学科 ○柚木 脩

4. 国家試験に用いられている多肢選択問題の問題点

川崎医療福祉大学 保健看護学科 ○斎藤 泰一

○印は口演者

学会運営委員長挨拶 寺 尾 章 教 授

発表要旨

介護福祉士養成教育における資質の側面について

川崎医療福祉大学 医療福祉学科 近藤 功行 末光 茂
 老人保健施設アルテピアセと 日下 喬史
 旭川荘竜ノ口寮 刈谷 哲博

介護福祉士の資質を語る側面には資質に関する側面がどう扱われているかの文献学的検討や実際に就業している者がどうみているかを考究していく必要がある。資質を探りその結果、「こういう人を養成する。養成するための条件を探る。」ということを目的

とするのである。つまり、養成校でのカリキュラムを見直し内容的には全部できることになっている学習方法論をどう強化していけばいいか、演習と実習の強化も含め検討していくことである。

高齢女性の健康生活におけるシルバーコーラスの意味

— 参加者の健康指標と QOL およびコーラス前後の NK 細胞活性を比較して —

川崎医療福祉大学 保健看護学科 人見 裕江

川崎医療福祉大学 医療福祉学科 宮原 伸二 中村 陽子

揚野裕紀子 塚原 貴子

人口2,579人、757世帯、高齢化率22.7%の農村部のK地区で、地域特性を生かした健康生活への取組として公民館活動にシルバーコーラス部を発足し、13年間継続実施している。月2回集うことが楽しみとなっているコーラスの健康生活への意味を検討した。方法:健康指標とQOL (WHO26)、コーラス前後のNK細胞活性を比較した。また血圧・コレステ

ロール・アルブミン・皮下脂肪率を測定した。結果:コーラス前後のNK細胞活性値は28名中半数が上昇(最高21%)し、低下したものの最大値は11%であった。健康指標は良好、QOL平均3.17点、血圧・肥満度その他正常であった。今後は事例的に、コーラスの意味とNK細胞活性値との関係を検討する。

発育期の野球肩・肘障害予防への臨床スポーツ医学的取り組み

川崎医療福祉大学 健康体育学科 柚木 脩

最近、少子化に伴い野球少年の人口減を認め、野球肘・野球肩の予防対策は新しい局面を向えたといえる。従来、指導者に対する医科学的啓蒙が広く行われてきたが、野球少年自身に何を伝え、どう理解させるかが重要であることがわかってきている。少年

野球人口の実態、有資格指導者必置制の盲点などから、今後の取り組み方について考察した。すなわち、野球の歴史の流れに基づいて、総合医科学的アプローチが必要であると結論できた。

国家試験に用いられている多肢選択問題の問題点

川崎医療福祉大学 保健看護学科 齋藤 泰一

国家試験に多肢選択問題(MCQ)が多用されている。解答コードが選択肢2つまたは3つの組み合わせ、あるいはそれ以上の複合的組み合わせになっているものでは、4つまたは5つの選択肢のうちの2つだけ分かれば直ちに正答できるし、しかもそれが4組あるいはそれ以上に存在する。これでは受験者の持つ

ている知識を正しく判定することは出来ないし、この問題を受験者の知識の状態を適切に判定出来るように作成することは甚だ困難である。

再認形式のMCQよりも、少しでも記述させて再生形式の問題にした方が知識の状態を適切に判定できる。